allcinema

マダムと女房(1931)

メディア 映画

ジャンル コメディ 音楽

製作国 日本 **色彩** B&W 時間 57分

初公開日 1931/08/01

【解説】

北村小松の原作・脚本を五所平之助が監督したコメディで、日本初の本格的トーキー作品として知られる。トーキーを意識した、全編「音」が鳴りっぱなしの賑やかな作品。同時録音だったこともあり、 撮影現場はありとあらゆる防音対策が取られたという。

劇作家の芝野新作は、脚本を書くため静かな郊外の住宅地へ引っ越した。様々な邪魔が入り執筆が進まない上、隣の家から大音量のジャズが聞こえてきて仕事が手につかない。新作は隣家に怒鳴り込むが、その家のマダムにメロメロになってしまい、ジャズを口ずさみながら帰宅する始末。新作は順調に脚本を書き進めるのだが、妻は隣のマダムに嫉妬していた。

【クレジット】

監督 五所平之助

原作 北村小松

脚色 北村小松

撮影 水谷至広

星野斉

山田吉男

作詞 サトウ・ハチロー

作曲 高階哲夫

島田晴誉

助監督 富岡敦夫

蛭川伊勢夫

出演を渡辺篤劇作家・芝野新作

田中絹代その女房市村美津子娘テル子伊達里子隣のマダム

横尾泥海男画家

吉谷久雄新作の友人月田一郎新作の友人日守新一見知らぬ男小林十九二音楽家

小林十九二音楽家関時男音楽家坂本武運転手井上雪子隣の少女

帝国ジャズバンド Teikoku Jazz Band 宮田ハーモニカバンド Miyata Harmonica Band